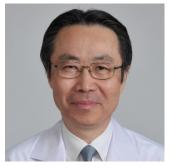


謹賀新年



地域医療連携室ニュース第70号 2017年1月



病院長 今井 康陽

あけまして おめでとうございます。

新年明けましておめでとうございます。団塊の世代が75歳以上になる2025年問題が次第に迫りつつあり、市立池田病院においても、入院患者さんの高齢化が進んでいます。このように高齢化が進む環境において、市立池田病院としては国が進める地域医療構想の推進に向けて、急性期病院としての役割を果たすべく病院機能の向上に取り組んでおります。特に救急医療は重要で、当院の特色である救急総合診療科を中心に救急診療を更に充実させてまいります。また地域医療構想の柱となる在宅医療に携わっておられる先生方とも密に連携して、在宅医療を受けておられる患者さんのケアや認知症対策にも協力してまいりたいと考えております。

癌診療においては、大阪府がん診療拠点病院として、肺癌、胃癌、肝癌、大腸癌、乳癌の5 大癌、さらに前立腺癌、腎癌、膵臓癌、食道癌、婦人科癌などについて腹腔鏡手術を中心とし た手術、内視鏡治療、化学療法、放射線治療、緩和ケアと幅広く高度ながん専門診療を行って まいります。

平成29年4月からは大阪大学との連携で呼吸器外科医の招聘を予定しており、呼吸器内科と協力して池田市および近隣の肺癌患者さんを診療できる体制が整います。平成27年度に更新された放射線治療装置は順調に稼働し、前立腺癌の放射線治療も可能となり、これまで以上に充実した前立腺癌診療を行えるようになりました。

平成28年2月からは消化器内科と消化器外科が一つとなり、消化器病センターを開設し、消化器疾患の診療がさらに充実したものになってきています。特に食道癌は手術、内視鏡治療、放射線治療、化学療法のできる数少ない施設です。また、消化器外科太田主任部長を中心に消化器癌周術期のERAS (enhanced recovery after surgery)を導入し、大腸癌など腹腔鏡手術と組み合わせ、侵襲が少なく、より早期の離床、術後回復が可能となり、患者さんにとってやさしくかつ高度な消化器外科診療を行っております。

以上のような高度な医療に加え、市立池田病院は、国が描く地域包括ケア体制の実現に向けた将来構想実現のため、"メディカル・タウン"構想を掲げ、自治体病院として近隣地域を"安心で豊か"なものにすべく、かかりつけ医の先生方、さらに地域の薬剤師の方々、訪問看護師、介護に携わる方々、行政とも連携し、充実した医療サービスを享受できる街づくりも目ざします。

消化器内科

部長 中原征則 主任医員 山口 典高



早期食道癌、早期胃癌、早期大腸癌の内視鏡的治療

従来よりポリープなどの良性腫瘍や病変が小さな早期食道癌、早期胃癌に対して粘膜病変を挙上して 鋼線のスネアをかけて高周波により焼灼切除する方法であるEMRが広く施行されてきましたが、病変が 大きい場合は一括切除が困難となり分割切除になることにより、癌組織の取り残しや断端評価ができない こともありました。そのためEMRによる技術的限界を克服すべく高周波ナイフを用いて病巣周囲の粘膜を 切開し、さらに粘膜下層を離して病変を切除するESDが新たな手技として確立され、今まで外科的切除と なっていた大きな腫瘍も内視鏡で一括で摘除可能となりました。

2006年に胃癌に対するESD治療が、続いて2008年に食道癌に対するESD治療に対しても保険収載がなされ、当院においても積極的にESDによる内視鏡治療を施行しています。特に大腸ESDは2012年4月に先進医療から保険適応になったばかりの最先端の内視鏡治療法の一つで、厚生労働省より施設基準が示

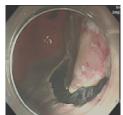
されており、まだ施行できる施設は限られています。当院は、施設基準を みたした認定施設であり、安全、確実に施行しています。

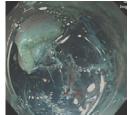
※地域紹介枠にESD専用診察枠を新設いたしました。 毎週木曜日 8:45~予約可能です。 年間の治療件数(2016年)

胃ESD 42例 食道ESD 17例 大腸ESD 24例

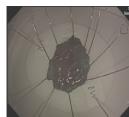
胃ESD







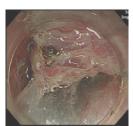


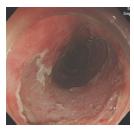


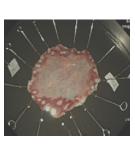
食道ESD











マーキング

粘膜切開

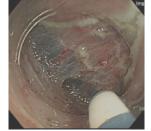
翻離

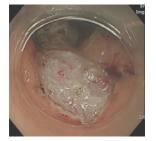
切除終了

切除した病変

大腸ESD









粘膜切開

剥離

切除終了

切除した病変

発行・編集:市立池田病院 地域医療連携室 事務局

問い合わせ:072-754-6379(直通) 発行日:平成29年1月4日

平成28年度 第46回市民公開講座

- これだけは知っておこう 病気・治療の豆知識40分講演-

がんと向きあうために §

がん看護専門看護師 山内 洋子

専門看護師の講演第二弾。当日は、現在も病気と闘っている方やそうでない方も含め 多くの方々にお越しいただきました。





がんに伴う症状がQOLに及ぼす影響

- 通常の日常生活を送ることが困難
- ・社会性が制限されたり、役割を喪失する ・精神的苦痛(抑鬱、不安、苛立ちなど) ・生きる意味や価値を見出せない
- 意思決定も困難となり、適切な治療選択ができない

身体症状がマネジメントされて、初めて患者は 充実した生き方を主体的に考えることが出来る

くご家族:

痛みのある患者さんのご家族は緊張やうつが強い

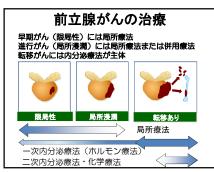


前立腺がんの診断と治療 §

泌尿器科部長 井上 均

開催日 12月7日(水) 参加人数 56名







発行・編集:市立池田病院 地域医療連携室 事務局

問い合わせ:072-754-6379(直通) 発行日: 平成 29 年 1 月 6 日

地域医療連携室ニュース 第70号 2017年1月

基本理念

~創意に富み 思いやりのある 信頼される病院をめざして~



当院の地域医療連携業務に対し、今年度も地域の医療機関の皆様には多大なご理解とご協力をいただき、あり がとうございました。来年度も、よりよい地域連携を目指し、精進してまいりたいと思っておりますので、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。